

# 兵解協だより

## 第11回近畿ブロック会議が開催されました。



開会の挨拶をする森鎌近畿ブロック長



来賓の挨拶をする出野専務理事

平成30年3月14日(水)PM2:00から京都新・都ホテル「八坂の間」で第11回近畿ブロック会議が開催されました。兵庫県からは上原会長他3名が出席、全解工連出野専務理事を含め合計22名が出席しました。

まず初めに、森鎌ブロック長が開会の挨拶を行い議事が開始されました。この2年間は、和歌山県が当番を担当してまいりましたが、和歌山件が担当する「近畿ブロック会議」は今回が最後になり、新年度からは、兵庫県が当番を担当することになっています。このため、森鎌ブロック長は挨拶の中で、「皆様方のご協力により無事に任務を完了することができました」と感謝の意を表明されました。

引続き、全解工連の出野専務理事が、来賓の挨拶に立ち「現在、全解工連が抱えております課題は、第1に組織の強化。第2に会員数の増加による組織力の強化。第3に全国の団体の名称の統一。でありどれも困難な課題ですが、地道に努力していく方針でございます。この様な中、解体工事業の許可申請は、現在26,000社に達し、近い将来全国で50,000社を突破することが予想されております。なお、全解工連の正会員は、1,600社で全体の3.2パーセントにとどまっております。この様なことから会員数の増加に全力を注がなければなりません」と述べられました。

この後協議事項の議事に入り、①理事会の報告 ②賀詞交換会の報告 ③各委員会の開催の報告が事務局よりありました。

続いて「各府県における近況報告、取り組み事例等の交換」を行いました。兵庫県からは、①平成29年11月17日に兵庫県警察本部長との「災害発生時における応急対策業務に関する協定」を締結、さらに平成30年1月17日に姫路市長との「災害時における緊急時及び被災建築物の解体撤去に関する協力に関する協定」を締結、さらには2月から、兵庫県消防課と「火災建物の外壁等の破壊に関する協力について協定書」締結の協議を開始した旨報告いたしました。

最後に出野専務理事から、「全解工連関係情報」の報告がありました。

次回、第12回近畿ブロック会議は兵庫県の担当で平成30年7月18日に「クラウンプラザホテル神戸」で開催することと、上原会長が「次期近畿ブロック長」に就任することが決定いたしました。

# 兵解協だより

## 反社会的勢力排除研修会が開催されました。(主催 (株) イボキン)



開会の挨拶をする高橋代表取締役



講演を行う大谷博明暴力団対策室長

平成30年2月15日(木)15時30分から、龍野商工会議所ホールで、「反社会的勢力排除研修会」が開催されました。主催は、(株)イボキンで、60社90名が参加し、会場はほぼ満席で兵解協からも、イボキンの社員の他3社7名が参加いたしました。

高橋克美代表取締役が、開会の挨拶にたち、「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針が政府から出されるなど、反社会的勢力との関係者談に対する社会的要請の高まりを受け弊社も内部統制への取り組みなどコンプライアンス管理体制の協会に取り組んでおります。その一環として、この度、弊社顧問弁護士垣添氏により、兵庫県警察本部暴力団対策室長の大谷博明氏をお招きし、反社会的勢力排除に関わる研修会を開催することになりました。ご多忙中にも関わらず、この様に多くの方々にご参加頂きまして誠にありがとうございます。共に連携し、反社会的勢力の排除に取り組ましよう」と述べられました。

つぎに、姫路警察署杉山課長、たつの警察署土田課長、企業防衛対策協議会丸橋事務局長から来賓の挨拶があり、その後、大谷室長の基調講演が始まりました。大谷室長は、講演に先立ち、「これまで数多くの講演会を行っていましたが、これほどの規模の講演会は初めてで、皆様方の意気込みが強く感じられます。」と述べられ講演が始まりました。講演は、①暴力団の情勢、②平成28年度暴追トピックス、③暴追センターの活動状況、④暴力団等に対する対応要領について、約1時間にわたり行われ、大変わかりやすく説明され、基調講演が終了いたしました。

この後、「決意表明」について垣添弁護士から、趣旨説明があり、「暴力団等反社会的勢力排除の決意表明」が朗読され①暴力団などの反社会的勢力とは断固として対決し、取引関係を含めた一切の関係を遮断する。②不当。不法な要求には応じず、裏取引や資金提供は一切行わない。③関係遮断の実効性を確保するための内部統制システムの構築と、適正な運用を行う。④反社会的勢力に対しては、警察等の外部専門機関と連携のうえ、組織的かつ法的に対応する。とした内容の「決意表明」が採択され、研修会は無事終了いたしました。